

飯伊地区 産業経済動向

No.486 2019/9
(元. 10. 25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
地域サポート部
しんきん南信州地域研究所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,281 枚	26.2 %	17.6 %
	金額	4,833,989 千円	32.0 %	14.9 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)
	金額	0 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	6 件	(前月 5 件)	(前年同月 6 件)
	飯伊	0 件	(前月 0 件)	(前年同月 1 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(8月)		49 戸	△ 23.4 %	6.5 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(8月)		1.47 倍	(前月 1.48 倍)	(前年同月 1.70 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	3,342 台	49.6 %	27.4 %
	中古車	804 台	29.3 %	36.5 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (8月)	新車	3,636 台	△ 10.5 %	5.2 %
	中古車	801 台	△ 20.5 %	8.4 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	117,119 台	△ 9.0 %	2.2 %
	出	118,265 台	△ 8.9 %	2.3 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	83,463 台	△ 3.7 %	2.5 %
	出	80,275 台	△ 3.7 %	1.7 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	16,122 台	△ 21.2 %	17.9 %
	出	15,696 台	△ 22.8 %	13.6 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	43,964 台	△ 19.5 %	4.6 %
	出	45,063 台	△ 17.9 %	5.7 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		178 件	22.8 %	20.3 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		6 件	(前月 7 件)	(前年同月 3 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	27,864 人	△ 24.4 %	1.9 %
	飯田～名古屋	18,823 人	△ 17.7 %	2.0 %
	飯田～長野	8,673 人	△ 6.3 %	△ 4.6 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	22,699 人	△ 22.9 %	- %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,688 人	△ 1.3 %	15.2 %
	右回り	3,597 人	△ 0.5 %	13.6 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www.iidashinkin.co.jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性油墨インキ
[リチウム]100% を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

9月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス40.0で、前月から10.0ポイント上昇。翌月予測はマイナス45.8で、前月から5.1ポイント下降している。

電気、精密機械器具の生産は、前月比横ばい～やや増加。景況感が悪化した業者は見られない。半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前年比は減少との声が多いが、前月比は横ばい～やや増加。景況感が好転した業者は見られないが、「米中貿易摩擦で先行き不透明だが、先行投資も見られる」などの声も。産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、業者により増減まちまちも、増加との声やや多い。とはいえ「一時的に動きは出たが、続かない。波が多く、谷間が長くなっている」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者は見られない。自動車向け部品の販売は、前月比やや増加、前年比はやや減少しているが、景況感に変化はないとの声。小型電磁機器の生産は、前月比減少、先行きも弱含みという。FA関連モーターでは、販売は「操業日の関係で前月よりは増加」したものの、受注が前月比、前年比ともやや減少しており、景況感も悪化との声。光学機器部品の生産は、前年比やや減少の様子。電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、景況感も悪化との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比、前年比ともやや減少の様子。「9月は低調との声が多い。駆け込み需要がなかったためだろうか」などの声。水引製品の販売は、前月比減少～横ばいも、前年比は横ばい～増加の様子で、景況感が悪化した業者は見られない。「本格的に正月飾りの生産が始まった」当月、「正月飾りの受注は良好」繁忙期を迎えたが、定期的注文はあるものの、今一つ活況が感じられない」などの声が寄せられた。漬物の販売は、前月比、前年比ともやや減少との声。「浅漬類の動きが良くない感」という。

建設業

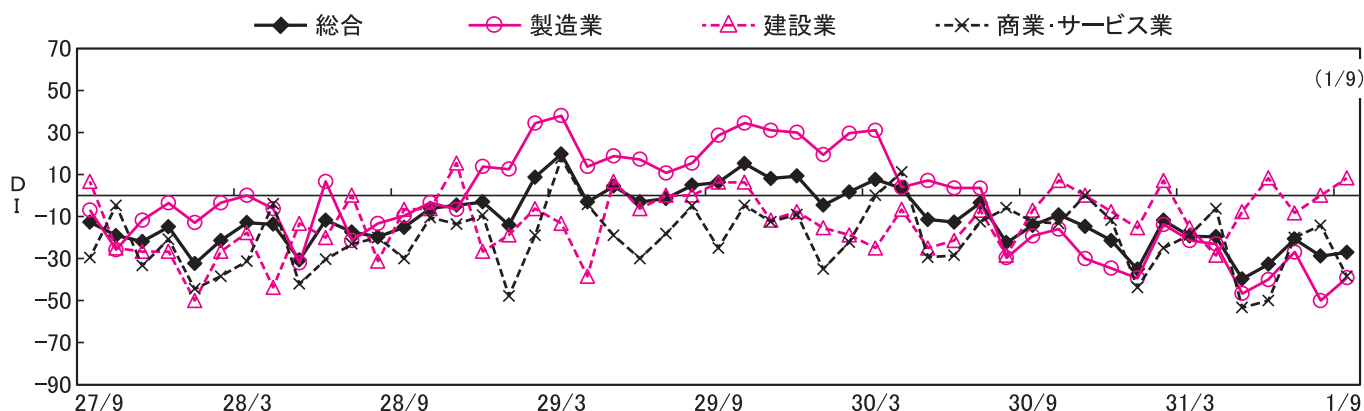
9月の建設業の景況DIは8.3で、前月から8.3ポイント上昇。翌月予測DIは8.3で、前月から7.1ポイント下降。

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約17.6億円、前月比10%増加、前年比も5%増加している(9月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高は、「発注の遅れていた市町村からの受注が増え、受注残高は前年比増加」「国、県を中心に発注となり、前年に比べると発注量が増えている」など増加との声が多数を占める。当地区の8月の住宅着工戸数は49戸。前月比23%減少も、前年比は7%増加。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい。総じて景況感に動きは見られない。

商業・サービス業

9月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス38.5と、前月より24.2ポイント下降。翌月予測DIは、マイナス28.6で、前月より17.6ポイント上昇している。食料品の売上は、「売上、客数、買上点数とも減少気味」など、前月比やや減少。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加、先行きも上向きだが、景況感の好転には至らないとの声。電化製品の売上は、前月比やや減少も、前年比増加の様子。家事用品卸の売上は、前月比概ね横ばいも、前年比やや増加との声。「消費増税前で少し多かった」ものの、「次月以降が心配」といった声が寄せられた。衣料品の売上は、前月比やや減少も、前年比は増加。「若干ではあるが、消費増税前の注文、納品があった」などの声。土産物の売上は、前月比概ね横ばいも、景況感悪化という。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比50%増加、前年比も27%増加。8月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比11%減少も、前年比は5%増加。市内料理店の売上の前年比は、業者により増減分かれる。昼神温泉の売上は、前月比やや減少。「夏のシーズンが終わり、団体客が唯一の救い。大きな動向に変化はない」などの声が寄せられた。タクシーの売上は、前月比、前年比ともやや減少との声。消費増税に関連して今後の経営環境の悪化を懸念する声が聞かれた。

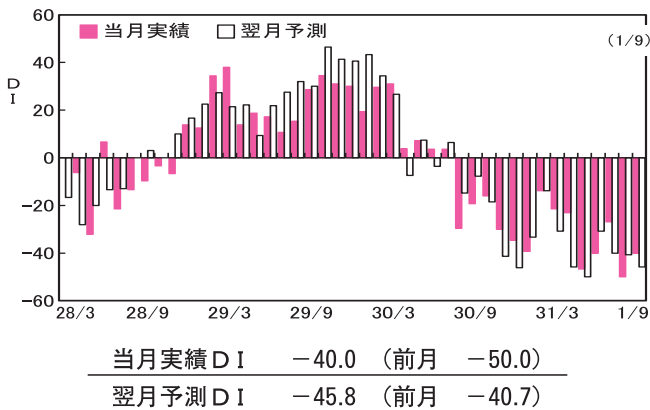
飯伊地区景況DI (本誌調査)



製造業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス40.0で、前月から10.0ポイント上昇。翌月予測はマイナス45.8で、前月から5.1ポイント下降している。

「近時の貿易摩擦等に関する特別調査（製造業）」結果速報

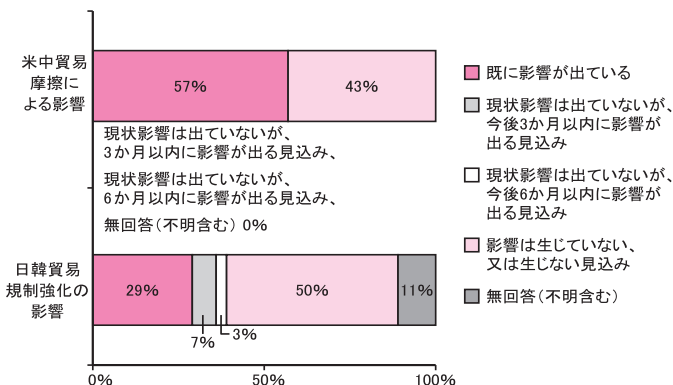
当金庫では、本年9月15日～10月25日の間、米中貿易摩擦や日韓貿易規制強化が地域の業況にどのような影響を与えているか調査した。今回は、製造業の皆様から寄せられた回答結果（n=28）のごく一部を、抜粋してお伝えする。

この調査では、まず米中貿易摩擦、日韓貿易規制強化の影響が、「すでに出ている」「現状は出ていないが、今後3か月（若しくは6か月）以内に出る見込み」「生じていない、又は生じない見込み」のいずれかを選択してもらった。

これによると、米中貿易摩擦では、57%の調査先が「既に影響が出ている」としている一方、43%の調査先は「影響が出ていない、または生じない見込み」としている。

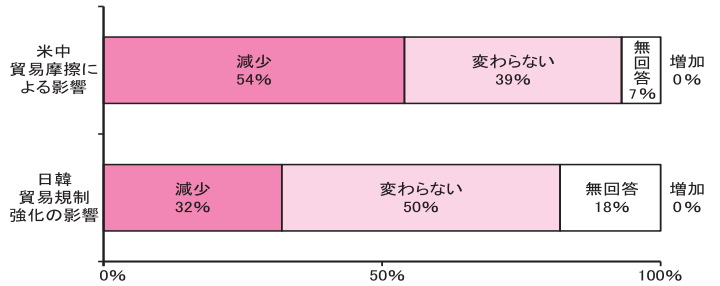
また、日韓貿易規制強化の影響では、「既に影響が出ている」との回答は29%に止まっているが、こうした中には「韓国から素材が入ってこない。エージェントが嫌がらせを受けている模様」といった、原材料、資材に関する声も聞かれた。また、10%の調査先が「現状は出ていないが、今後3か月（若しくは6か月）以内に出る見込み」としているほか、「不明」との回答を含めた無回答が11%あり、今後の影響を見定めようとしている様子も窺えるだろう。

米中貿易摩擦、日韓貿易規制強化は、御社の経営に影響を与えていますか



本調査では、こうした影響の具体的内容もいくつか聞いているが、これを受注面で、「増加」「変わらない」「減少」のいずれかを選択してもらった。下記グラフはその結果をまとめたものだが、「親会社の中国向けが、納期先送り等受注減少」など、米中貿易摩擦の影響を受けたと思われる受注の減少があったとする回答は54%あり、「韓国向け輸出が止まっている」など、日韓貿易規制の影響を受けたと思われる受注の減少があったとする回答32%を上回っている。

米中貿易摩擦、日韓貿易規制強化によって、受注にどのような影響がありましたか、またはありそうですか

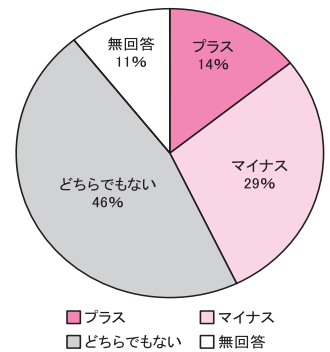


ところで、本年10月は、月初からドル、円相場がやや円高方向で推移していた。そこで本調査では円高が総じて調査先企業に与える影響を、「プラス」「マイナス」「どちらでもない」で選択してもらった。

右のグラフはその結果をまとめたものだが、「どちらでもない」あるいは無回答が過半数を占めるが、プラスであれマイナスであれ、何らかの影響を受けるとする回答も43%ある。また、自由回答においては、「日中貿易摩擦、日韓貿易規制の強化に限らず「紛争鉱物、化学物質管理の更なる厳格化」といった声や、「中国が日本の生産を受けられるようになっている」といった、世界のサプライチェーンに組み込まれていることを前提とした声も聞かれた。

こうした中、「中国、米国、韓国だけでなくヨーロッパ諸国の動向も影響がありそうだ」「この先何が起こるか本当に判らない」といった声が聞かれ、世界情勢に関わる不透明感が拭えない様子が窺える。

円高は、総じて御社にとってプラスですか、マイナスですか



機械加工製造業

電気、精密機械器具の生産は、前月比横ばい～やや増加。景況感が悪化した業者は見られない。先行きは、売上の若干の減少を見込む声もあるが、総じて大きな動きは見込まれていない。当月、原材料、資材価格や販売価格に大きな動きはなかったという。設備面で積極的な声が聞かれた。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前年比は減少との声が多いが、前月比は横ばい～やや増加。景況感が好転した業者は見られないが、「米中貿易摩擦で先行き不透明だが、先行投資も見られる」「計画前倒しが一部あり、先行加工品が出た」「まだ先の話だが、

上向きを見込む話が出始めた」「一部の製品は、特に中国向けで好調」「底入れた製品もある」「F P D 関連は減少している」などの声が寄せられた。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面では現状維持との声が多い。設備面でも積極的な声は多くない。

産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、業者により増減まちまちも、増加との声がやや多い。とはいえ、「前月が悪すぎた」「一時的に動きは出たが、続かない。波が多く、谷間が長くなっている」「景気はさらに悪化しており、上昇要因が見当たらない」「仕事の話が減少」「一部の製品は少し増産傾向になったが、コストダウン要請がある」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者は見られない。こうした中、「短納期ものが増えている」「短納期案件はあるが、協業で対応している」などの声も。先行きは、上向きと見る業者もあるが、こうした声はごく少なく、「全般的に予測困難な状況」「景気がいつ良くなるか見えてこないとの声が多い」「ロボット関連は、いい情報が出てこないどころか、2～3か月先の見通しすらつかない」など、不透明感を指摘する声は多い。

当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかったとの声が多いが、「アルミは次月以降ダウン」「消費増税分高くなった」との声も。雇用面では、概ね現状維持。設備面でも積極的な声は少ない。

自動車向け部品の販売は、前月比やや増加、前年比はやや減少しているが、景況感に変化はないとの声が寄せられた。先行きにも大きな動きは見込まれていないという。

小型電磁機器の生産は、前月比減少、先行きも弱含みで、景況感も悪化との声。当月、原材料、資材価格がやや上昇しており、先行きもこうした傾向が続く見込みという。設備面でも積極的な声は聞かれた。

FA 関連モーターでは、販売は「操業日の関係で前月よりは増加」したものの、受注が前月比、前年比ともやや減少しており、景況感も悪化との声。「産業機械向けが減少で推移」「中国における貿易摩擦の影響が国内販売で出ている」といった状況に変化がないという。

光学機器部品の生産は、前年比やや減少との声。先行きも弱含んでいるという。原材料、資材価格に関し、当月大きな動きはなかった様子。雇用面の不足が続いているという。

電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、景況感も悪化との声が寄せられた。先行きも弱含みという。雇用面で不足感があるとの声が聞かれた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比、前年比ともやや減少の様子。「食品では消費増税前の駆け込み需要はなかった」「特定の販路向けの導入が減少」「9月は低調との声が多い。駆け込み需要がなかったためだろうか」などの声が寄せられた。原材料、資材価格に関し、前年に比べると上昇しているとの声も。雇用面は現状維持の様子。一部に設備面で積極的な声。

水引製品の販売は、前月比減少～横ばいも、前年比は横ばい～増加の様子で、景況感が悪化した業者は見られない。「本格的に正月飾りの生産が始まった」当月、「正月飾りの受注は良好」「繁忙期を迎えたが、定期の注文はあるものの、今一つ活況が感じられない」「10月ピークの前哨戦、消費増税があるものの引合殺到というわけにはいかず、淋しい感も」「新年が迫っ

てからの天災で、縁起物の買い控えが懸念される」などの声が寄せられた。また、祝儀用品などでは「少々増加したが、利益の確保が難しい」という。当月、原材料、資材価格がやや上昇との声が多いが、「円高のメリットもある」との声も。「従来伝統的な製品が多かったが、近年は水引の魅力をもっと示せる作品も出回り、幅広い業界に浸透しつつある。業界は互いに切磋琢磨している。まだまだ夢がある」との声が聞かれた。

漬物の販売は、前月比、前年比ともやや減少との声。「浅漬け類の動きが良くない感」という。原材料に関し、「ここまでは安定。消費増税後の影響の有無を良く見ていきたい」との声が寄せられた。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比横ばいとの声。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。

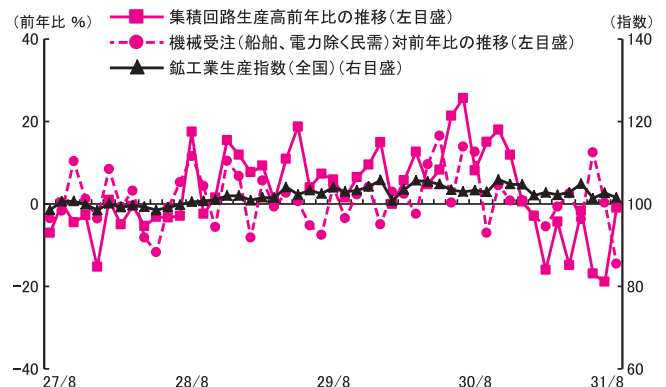
印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比とも増加との声。「消費増税前の駆け込み需要があった。今後反動がありそうで不安」「各市町村でプレミアム商品券を作成しているようだが、商品券の売上見込みは目下のところ思ったほどではないとの声も聞く」などの声が寄せられた。当月、原材料や資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面で不足感があるとの声。

衣料品の受注は、前月比、前年比とも減少との声。「消費が落ち込み過ぎ。消費増税による駆け込み需要はほとんど見られず、例年9月は年間でも最も売上を見込める月でありながら、大幅に落ち込んでいる」「気候変動の影響でアイテムの選択が難しくなっている。消費者が買いたい製品が作れていない」「ラグビーブームで、ユニホームなどでは作れば売れるといった部分もある。オリンピックでも同様のことが起きれば良いが、今のところはどうか未定」などの声が聞かれた。依然人員不足が続いている様子で、「技能実習生を増やす」というが、「以前より課題も多くなっており、受入が難しくなってきた」という。

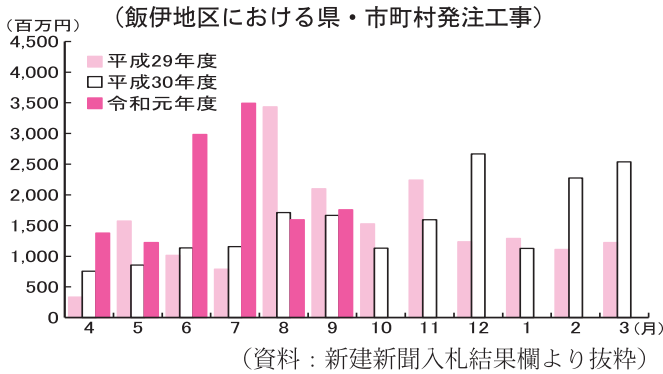
【企業からのコメント】

- ★取引先の話だが、当地区は特に落ち込んでいる一方、上伊那は飯伊ほどではないという。
- ★ITの時代であっても、顔と顔の営業が命綱。
- ★以前より海外実習生の言葉の習得、教育に時間がかかるようになった感。
- ★受注しない選択が重要と思える時もある。
- ★同業の廃業があった。時代の流れかもしれないが、手作りに特色のある業者だけだけに残念。
- ★「巧遅は拙速に如かず」というが、納期を早くすることが大事だと感じる。

集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



月別入札額



当月景況DI 8.3 (前月 0.0)

翌月予測DI 8.3 (前月 15.4)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約17.6億円、前月比10%増加、前年比も5%増加している(9月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高は、増加との声が多数を占める。「発注の遅れていた市町村からの受注が増え、受注残高は前年比増加」「国、県を中心に発注となり、前年に比べると発注量が増えている」「長野県全体の工事は、目下のところ昨年度比増加」「昨年は売上増だったが外注も多かった。それに比べれば今年売上は減少する見込みだが、自社の工事量は十分」「今後、護岸工事等河川工事が動き出すと、もっと忙しくなる」「当社も目一杯受注しており、早期に完成させて次の工事の受注を目指したい」「同業も仕事があり過ぎて、人手不足で苦労しているのではないかなど、発注が増えているとの声は多い。

完工高もやや増加しているとの声は少ないが、「完成工事が暫くないので、借入も考える」「年度末に向け借入を予定」などの声も。

こうした中、「技術者不足、法面など特殊工、ガードマンなどが不足」「同種の工事が多いこともあって特殊工が不足」といった事情から、「不調、不落の案件は昨年度越え。同種工事の急激な増加は、却って疲弊してしまうことを危惧する声は多い」「発注はあるが、不調の工事も多い」といった声が聞かれた。

「老朽化した車両を入れ替える。重機類も老朽化しており、投資を考えている」「排ガス対応重機類購入」「OS更新によるパソコンの入れ替え。業務車両の入れ替えも考えている」「パソコン関連に投資」といった声や、「キャリアアップシステム関連を導入」など、設備投資に積極的な声は多い。

資材価格に関し、当月大きな動きはなかったとの声が多いが、「消費税分上昇」「前年よりは高い」などの声も。

民需

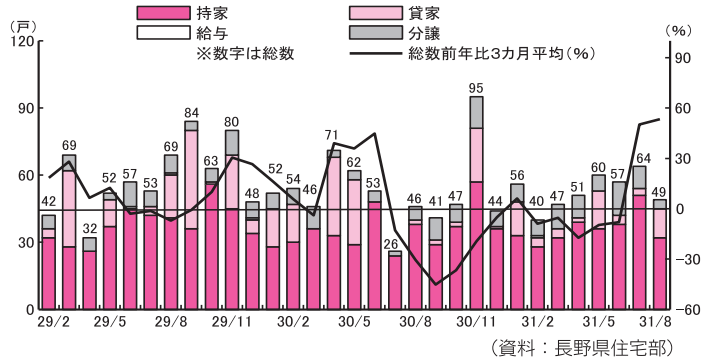
当地区の8月の住宅着工戸数は49戸。前月比23%減少も、前年比は7%増加。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい。「リフォームなど改修工事中心。新築の受注はなかった」などの声が聞かれ、総じて景況感に動きは見られない。雇用面で「住宅の営業が必要」「高齢化などにより不足している」などの声が聞かれた。資材価格では、当月大きな動きはなかったとの声が多い。

住宅着工戸数の推移

近時の当地区の住宅着工戸数について、総数前年比の3か月平均の推移を見ると、7月にプラスの領域に入っている。本年7月の住宅着工戸数は64戸で、昨年7月の住宅着工戸数26戸に比べると146%増加しているが、一昨年の7月の住宅着工戸数は53戸で、これに比べると21%の増加に止まる。8月の住宅着工戸数は前年比7%増加も、一昨年比では29%減少している。

飯田市・下伊那郡 住宅着工戸数の推移(用途別)



こうしたことから、消費増税に向けた駆け込み的な動きがあるか否かは、目下のところ明らかではないように思われる。

建設資材

塗料等建設、建築資材の売上は、前月比やや増加との声。「消費増税後の落ち込みを心配していたが、今のところ影響はなく、年内一杯は順調に推移するのでは」との声が聞かれた。

鋼材の売上は、前月比増加も、前年比やや減少、「景気が回復せず売上が伸びない。製造業を含めどの業種も振るわず、全体に冴えない状況。先行きも悲観的」との声が聞かれた。消費増税に関し、「備える動きが全くなく、ほとんど影響はないが、マイナス要因にはなりえる」という。鋼材価格については「全体的に横ばい。上がる雰囲気はなく、どちらかといえば弱含み」という。

生コンの売上は、前月比横ばい～増加。前年比は業者により増減分かれる。当月の主な出荷は、「三遠南信自動車道工事、砂防堰堤工事、床固工事、工場増改築工事、発電所工事に関わるもの」という。「工事は発注されているが、動きがない。大きい工事が始まらない」「地元業者は工事はとれたが、人が足りない様子。生コン業界も出荷が低迷している」などの声。リニア関連工事に関し「出荷量はほとんどなく、当月出荷量の1%未満」「リニア工事はいつになるのか」などの声が聞かれた。

骨材の売上は、前月比増加、前年比は業者により増減まちまち。「今年度通期では、昨年度よりも少ないのでは」「ダンプカーが足りない状況。三遠南信自動車道天竜峡インター～龍江インターの開通に向け現場は急ピッチで施工中。碎石、アスコンの納品が集中している」「生コン業界は依然少なく、業界全体では期待に反した売上」などの声。一部に雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

【企業からのコメント】

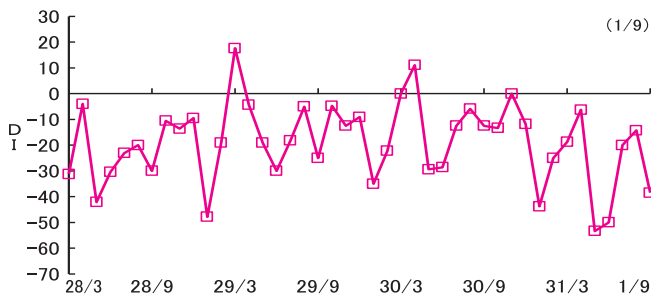
- ★東京以外の地方は景気悪化の道をたどっているように思う。
- ★中長期的な工事量を確保していただくとともに、平準化、閑散期のない発注への配慮などをしていただけるとありがたい。
- ★生コン、骨材、アスファルト合材の出荷量は少ないと聞いている。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

- 9月 ○飯田建設事務所
 新築 14件 (前年 13件)
 増築 1件 (前年 3件)
 ○飯田市役所
 新築 19件 (前年 21件)
 増築 2件 (前年 3件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI	-38.5 (先月 -14.3)
翌月予測DI	-28.6 (先月 -46.2)

商業

食品の売上は、「売上、客数、買上点数とも減少気味」など、前月比やや減少。一部に先行きは弱含みとの見方も。「全てにおいて仕入が値上がりしている」との声が聞かれ、こうした傾向は続く見込みという。一方、「消費増税後も販売単価を上げる状況にない」など転嫁は困難との声も。「軽減税率対応で、キャッシュレス決済が増加すると、クレジット会社への手数料などの経費の増加が見込まれ、経営全般に与える影響を心配している」との声が寄せられた。

〔青果卸売市場〕

販売は前月比やや増加も、前年比やや減少という。野菜は、「晴天の日が多く、降水量が極端に少なく気温が高めだったこともあり、大根や白菜などの鍋物向け、さつま芋など秋野菜の需要が不振。昨年豊作だった松茸の入荷もほとんどなく、野菜全体では入荷量5%減、価格も17%安」という。果実は、「早生みかんは天候にも恵まれ味も良く順調。りんご、梨も、品種によりばらつきはあるものの、ほぼ前年並み。果実全体では入荷量、価格ともほぼ前年並み」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加、先行きも上向きだが、景況感の好転には至らないとの声が聞かれた。

電化製品の売上は、前月比やや減少も、前年比増加との声。「小中学校の空調設備事業が続いており、資材、工事ともに好調」「予想以上に消費増税に伴う駆け込み需要があり、設備改修や点検が増加」「家電製品は、なかなか秋らしい気温にならず、暖房商品の伸びが今一つ。暖冬の予測もあるが、注力していきたいところ」などの声が寄せられた。

家事用品卸の売上は、前月比概ね横ばいも、前年比やや増加との声。「消費増税前で少し多かった」ものの、「次月以降が心配」「次月の落ち込みは大きい」と見込んでいた」といった声が寄せられた。「紙類が少しずつ入荷するようになったが、価格の上昇が大きい。10%という消費税率はやはり大きいと感じる」などの声も。

衣料品の売上は、前月比やや減少も、前年比は増加。「若干ではあるが、消費増税前の注文、納品があった」「消費増税前の割引セールもあって、月末を中心に駆け込み需要あり。次月は月初から低迷するのでは」という声。「製造業、特に工業系のお客様に関し、今後あまり良くないだろうとの声も聞く。実際のところはどうなのか」「仕入業者に倒産があった。業界は全般に厳しい」などの声が寄せられた。

土産物の売上は、前月比概ね横ばいも、景況感悪化との声。当月、仕入単価がやや上昇しており、販売価格もやや上昇したという。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比50%増加、前年比も27%増加。中古車も、前月比29%増加、前年比も37%増加している。

8月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比10%減少も、前年比は5%増加。中古車も、前月比21%減少も、前年比は8%増加。

サービス業

市内料理店の売上の前年比は、業者により増減分かれる。しかし、増加したとする業者にあっても、「前年が悪かったため、景況は良くない」などの声が聞かれたほか、「暑すぎて当店には厳しい」「1月からのトータルで前年に比べ減少。秋の行楽、その後の忘年会に期待」「少人数の宴会は多かったが、家族連れが少ない」「良い状況の店の話は聞かない。新規オープンのお店でも、オープン景気が続く期間が以前より短いとの話も聞く」などの声が寄せられた。間近に迫った消費増税に関し、「お客様は使わない印象」「増税が前年比減少の理由かどうか、今後の推移を見ないと確かなことは言えないが、増税に伴う仕入単価の上昇は、利益の減少など経営に悪影響の要素がある」「軽減税率に伴い、値段設定を税理士と打ち合わせたほか、メニュー、レジなど準備」「税率の変化に加え、キャッシュレス決済が導入される関係上、対応、準備に翻弄された」などの声が寄せられた。仕入に関し、「松茸が遅いが、この暑さでは望み薄」「台風で出漁できない影響もあり、イカやサンマが採れない。品薄」などの声。一部に、設備面で積極的な声も。

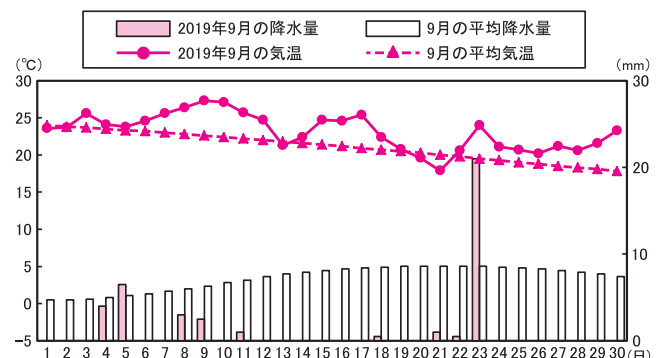
昼神温泉の売上は、前月比やや減少。「夏のシーズンが終わり、団体客が唯一の救い。大きな動向に変化はない」「週末ごとに来る台風でキャンセル続出。7月以降、前年割れが続いている」「ナイトツアーは、減少傾向にあるように思われる上、冬季は気象も厳しい。冬は地元の宴会などで利用していただく必要がある」などの声が寄せられた。消費増税に関し、「影響を注視している。キャッシュレス決済など支払いが複雑になって、対応に苦慮。従来のクレジットカード支払いは減少しているように思う」などの声が聞かれた。雇用面で、「人材不足は深刻」「仲居さんの高齢化が進み、お客様、特に若い方の要望に添えきれない。外国人インターナショナルも、言語に課題がある」などの声が寄せられた。

タクシーの売上は、前月比、前年比ともやや減少との声。消費増税に関連して、「消費増税の結果、税抜きで見ると実質値下げとなりそう。事業者がこれを負担するのも厳しく、その分運賃の値上げになるが、お客様は敏感で売上の大きな落ち込みが予想される。一方、メーター改造など経費はかさむ。全く納得がいけない。今後業界の経営環境はさらに厳しさが増すと思う」との声が寄せられた。「LPG 価格は値上がり傾向」という。

【企業からのコメント】

- ★消費増税では細かいところまで色々手間がかかる。
- ★政府、日銀などの景気判断と、地元の景況感に温度差があるように感じる。
- ★当地域は台風の直接的な被害こそなかったが、被災された同業者、住民の皆様にお見舞い申し上げる。

飯田の気温と降水量



防災・減災を手助けする「中小企業強靱化法」!

飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課
中小企業支援アドバイザー 佐々木信高

大型の台風15・19号は、多くの尊い人命を奪い、住民生活や農業・企業経営に甚大な影響を与えました。被災された方々には、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、早期に復旧されますことを心よりお祈り申し上げます。

毎年、地球規模で起きている気候変動を、もはや「異常気象」の一言では片付けられないと誰もが思っているのではないのでしょうか。このことが、環境問題に起因としていると捉えるなら、原因を排除する事を世界規模で真剣に考えなければならぬと思います。

風水害をもたらす企業への影響は、15号では、千葉県を中心に、長期間の大規模停電によって、「エアコンが使えず熱中症で死亡」「各地で通電火災発生」「乳業工場が操業停止、スーパーで品切れ」「水産加工用の冷蔵庫が使えず魚介類を廃棄」等が伝えられました。また、19号では、東京都や多くの県が被災し、当長野県でも、北信・東信地域を中心に被害が大きく「工場が浸水し、操業停止」「運輸会社が浸水し荷物の受け渡しを中止」「コンビニが浸水や停電で営業停止」等、報道されました。遡って8月末には、九州北部を襲った猛烈な雨によって、佐賀県大町町の鉄工所で加工したボルトを冷やす油が大量に流出して、周辺の住宅や農地、さらには有明海にまで流れ出して大きな被害となりました。このように、近年の風水害は、住民の生活はもとより企業経営にも多大な影響を与えています。場合によっては深刻なダメージを受けて資金繰りが悪くなり、事業が滞り、最悪の場合には廃業を余儀なくされる場合もあります。

私は、昭和36年、小学校5年生の時に、伊那谷を襲った「集中豪雨 36(サブロク)災害」で避難を経験しました。当時、この地域は、数日に渡って雨が降り続き、既に周りの山々も山崩れによって茶色の地肌があちこちに見えていました。薄暗くなった夕方、外に出てみると、小高い丘にある小さな川から泥水や流木が勢いよく流れ出て、我が家の裏の水田は見る見るうちに土砂に埋まって行くところでした。父は、お隣の一人暮らしの高齢なおばあさんを背負い、膝の上までつかる泥水の中、怖い思いをしながら家族で避難をしました。途中、母の友人である煎餅屋さんの住宅と工場に土砂が入り込んでいくのを目の当りにして、子供心に恐ろしさを覚えました。知人宅に数日間身を寄せた後、自宅に戻った時の光景は、あたり一面、茶褐色の土砂で覆いつくされ、煎餅屋さんの家は軒下まで埋まっていました。幸い私の自宅は、少し土砂の流入があったくらいで大事に到りませんでした。母と一緒に煎餅屋さんを見舞ったときは、工場内が土砂や流木で埋まり見る影もなく、土砂に埋まった煎餅を焼く機械を数人の男性がスコップで掘り起こしている最中で、母とおばさんが抱き合って泣き崩れていたのを今でも思い出します。煎餅屋さんは、当初、私のお隣に住んでいて子供たちとも仲良く遊んでいました。夫婦で新しく工場を建てて間もなくの被災だったと思います。被災後しばらくして、近くの高台に新たに工場を移転して操業を始めました。今思えば建物の移転を二度経験したことで多くの労力やお金もかかり、おじさんやおばさんのご苦労は並大抵のものではなかったと思います。当時は、河川の護岸工事などなく蛇籠に石を詰め沈めておく程度のもので、まして、現在の防災ハザードマップなど無く防災意識は低い時代でしたが、辛く悲しい思いは誰もして欲しくないと今でも思います。

防災・減災対策に取り組む中小企業を応援する新しい制度がスタートします!

「事業継続力強化計画」認定制度



経済産業省では、中小企業・小規模事業者の方々が防災・減災に向けて取り組む計画を認定します。計画の認定を受けた中小企業の皆様は、下記の支援策(優遇制度)をご活用いただけます。(一部条件がある支援策があります。)

認定企業への支援策

- 1 日本政策金融公庫による低利融資(設備投資資金)
- 2 信用保証枠の追加
- 3 防災・減災設備への税制優遇
火災時に役立つ設備(自家発電設備、制震・免震ラック、止水板等)を導入した場合に特別償却(20%)が可能
- 4 補助金の優遇措置
- 5 認定ロゴマークの使用
- 6 本制度と連携いただける企業・団体からの支援

申請方法

- (1)「事業継続力強化計画」の策定
本パンフレットや中小企業庁ホームページに掲載している「策定の手引き」を参照いただき、事業継続力強化計画を策定ください。
- (2)申請
計画策定後、管轄する経済産業局(又は内閣府沖繩総合事務局)に申請書及び必要書類をご提出ください。
- (3)認定
申請後、認定まで約45日かかります。
- (4)計画の開始
計画が認定された場合、申請した経済産業局から認定通知書が交付されます。認定後は、計画に記載した項目を実施ください。
*計画認定後に、上記支援策をご活用いただけます。

経済産業大臣
(地方経済産業局等)

申請 ↑ ↓ 認定

事業継続力強化計画

中小・小規模事業者等

近年、気象状況も昔と違い、台風の逆走だったり、台風が来ないと言われていた北海道にも頻繁に上陸したりと、風水害の多頻度化、大規模化が顕著になっています。毎年、災害に十分な備えが無いまま多くの住民や企業が被災して深刻なダメージを受けています。国は、今年7月16日に「中小企業強靱化法」を施行しました。この法律は、中小企業や小規模事業者が、大規模災害により経営に行き詰まる事が無い様に、事前の予防措置に対して支援をするものです。具体的には、中小企業・小規模事業者が災害に備えて防災や減災のための「事業継続力強化計画」を立てて経済産業大臣が認定することにより事業活動を継続できるよう金融支援や税制優遇など事業継続力の強化を応援するための施策で、これを「事業継続力強化計画認定制度」と呼びます。

既に、経済産業省・中小企業庁は、10年程前から「事業継続計画（BCP）」（企業が自然災害などの遭遇した際、被害を最小限にとどめ、早期復旧を可能とする計画）の普及活動を行っていますが、BCPの策定は、いまだ、事業者の一部に留まっているようです。BCPという形を取ってなくても、災害に対して実効性のある取り組みを行っている事業者もいます。いきなりBCPでなくても有効な対策は数多く存在します。「事業継続力強化計画」は、中小企業や小規模事業者が取り組みやすい防災対策や減災対策を考え、計画にまとめて認定を受けるもので、取り組みやすくなっています。認定を受けると、防災・減災のための自家発電設備、排水ポンプ、制震・免震装置、浄水装置、揚水装置等の設備投資をした場合、①政府系金融機関の低利融資や、②信用保証枠の拡大③防災・減災設備に係る税制支援措置（20%の特別償却）を活用する事が可能となります（一部条件があります）。他にも「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」や「小規模事業者持続化補助金」の加点措置もされます。

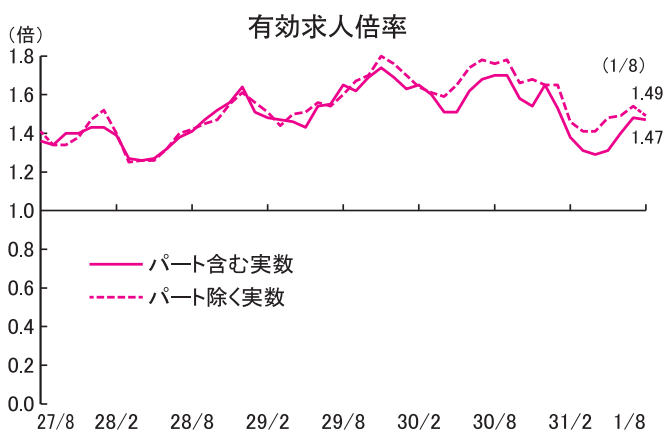
中小企業や小規模事業者が災害に見舞われると多くの人命や企業の経営資源が失われます。毎年、頻繁に発生する災害に対しての防災や減災は、これからの企業経営の重要事項になろうとしています。お問い合わせは、飯田信用金庫の各支店、又は企業経営サポート課（TEL 0265-53-5811）まで。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

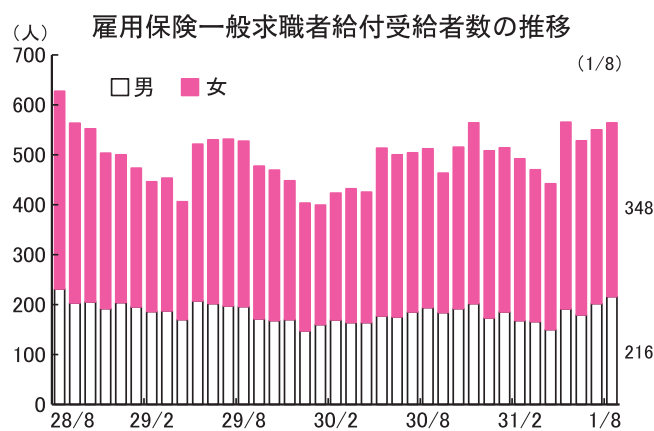
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 佐々木信高 は、商工会、商工会議所で地元中小企業の支援業務に長く携わった経験を基に、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、お取引の支店、または 飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



8月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.47倍と、前月から0.01ポイント下降。パートを除く実数も1.49倍で、前月から0.05ポイント下降している。



8月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は14人増加、女性は増減がなく、全体では564人と前月から14人増加している。

(資料：ハローワーク飯田)

リニア沿線紀行

川崎市宮前区とリニア神奈川県駅の状況

川崎市宮前区でリニア工事の進展がみられる、との情報が寄せられましたので、現地を訪れました。

1. 準備工事が区切りを迎える？犬蔵非常口

東名川崎インターから主要地方道の尻手黒川道路を町田方面へ向かうと、犬蔵非常口の工事現場に至ります。尻手黒川道路の沿道は事業所が立ち並んでいますが、その裏手は一戸建てや集合住宅が多くを占め、それが周辺の丘陵まで埋め尽くし密集しています。川崎市は神奈川県で横浜市に次ぐ第2の政令指定都市で、人口153.0万人、その中で宮前区は人口23.2万人（本年10月1日現在・川崎市HP）を数えます。犬蔵非常口工事現場は同道路沿いの食品スーパーに隣接し、非常口新設工として前田・三井住友建設・大日本土木・アイサワJVが担当して、現場設置が行われています。フェンスに設置されたボードには「準備工」となっており、一通り整地等が終わって今後立て抗掘削に進み、完成後にはここからシールドマシンが本坑を掘り進むとみられます。



東百合ヶ丘非常口工事現場



犬蔵非常口工事現場

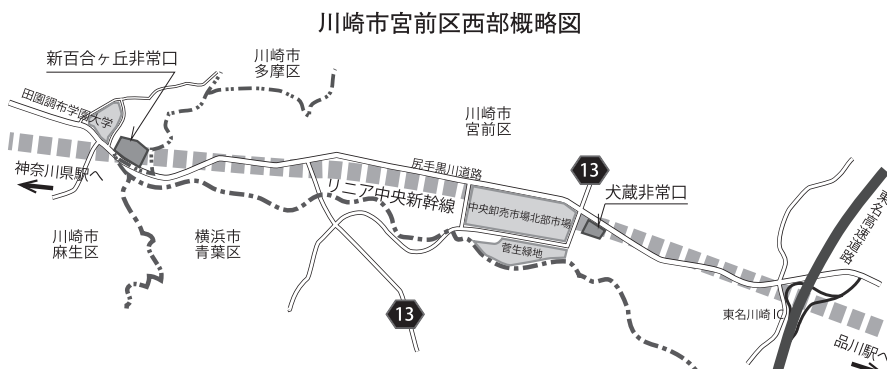


東百合ヶ丘非常口 立て抗掘削工事が進む

2. 東百合ヶ丘非常口は立て抗掘削進む

宮前区ではありませんが、道ひとつ隔てて隣の川崎市麻生区となる場所に東百合ヶ丘非常口の工事現場がありました。小田急新百合ヶ丘駅に近いところです。

大林組・フジタ・大本JVにより、立て抗工事が進められています。掲示板に貼り出された工程表には「内部掘削工 GL（地盤高）0m～-90m」で、10月初旬には「GL-60m」という表示がありました。計画の90m掘り下げに対し既に60m程度まで到達しているようです。



(JR東海事業説明会資料を基にリニア対策課作成)

3. ベッドタウン的色彩の橋本駅周辺

リニア神奈川県駅予定地となる JR・京王電鉄橋本駅へ続いて訪問しました。橋本駅は JR 横浜線（八王子～横浜）、相模線（橋本～茅ヶ崎）と京王相模原線の乗降駅となっています。

橋本駅のある相模原市は前述の川崎市に次ぐ神奈川県第3の政令指定都市で人口71.8万人（本年10月1日現在・相模原市HP）。橋本駅は同市緑区に属しますが、同区の中で駅を中心とした橋本地区は人口72,392人です（同）。2つのJR線と私鉄があることから、訪問前はターミナル駅の都市機能を持った駅前をイメージしていましたが、鉄道沿線のベッドタウン的色彩が強い駅前という印象を受けました。

JR 橋本駅の乗車人数は、JR 東日本によると、1日当たり定期外24,049人、定期42,087人、合計66,136人、JR 東日本のランキングで70位となっています（2018年度、JR 東日本HP）。その前後の駅は、とみると、66位に代々木駅70,479人/日、71位 新横浜65,768人同などがあります。京王電鉄の駅としての乗車人数は、橋本駅は2018年度は同社で6位となる1日当り98,838人。前後には、5位 下北沢駅114,175人/日、7位 分倍河原駅95,736人同があります。（京王電鉄HP）。

リニア駅設置の現場は、駅前の神奈川県立相原高校あいはらですが、本年4月には新しい場所へ移転して、現在は無人です。学校の構内を見るとあちらこちらに杭が打たれておりますが、工事関係の重機等動きはありません。本年中には工事開始との地元報道もあります。

現在は東京電力パワーグリッド(株)により、相原高校の隣り国道16号線沿いにある東京電力橋本変電所^{あいはら}に出入りして線路を跨いでいる高圧送電線（右上概略図の++++）を地下埋設する工事が2019年4月から2020年12月にかけて実施されることが示されています。当地域の座光寺変電所と同様な状況と判りました。



橋本駅前の状況、左はリニア駅工事が行われる旧相原高校

（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）



正面京王橋本駅入り口、右手地上階JR橋本駅入り口

橋本駅付近概略図



JR 東海事業説明会資料に着色、表記を追加



旧相原高校構内

今回は駆け足での訪問でしたので、事業者や行政からは特段説明を受けておらず、あくまで現地で見聞きしたことに基づきまとめております。ご承知置き下さい。

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数							
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野		伊那・駒ヶ根～新宿	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成25年	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4	—	—
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8	—	—
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1	—	—
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8	—	—
29	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1	—	—
30	637	△ 9.6	327,033	△ 0.3	219,979	0.6	112,882	△ 2.4	—	—
平成30.7	26	△ 50.9	26,163	△ 2.3	17,104	△ 6.7	9,564	△ 3.2	—	—
8	46	△ 33.3	36,722	△ 0.2	22,773	0.8	10,136	△ 2.0	—	—
9	41	△ 51.2	27,335	0.6	18,457	△ 0.5	9,087	△ 3.8	—	—
10	47	△ 25.4	27,355	1.7	18,546	1.2	9,903	△ 1.8	—	—
11	95	18.8	26,399	2.4	17,852	△ 2.0	9,602	1.6	21,038	—
12	44	△ 8.3	28,429	0.6	18,173	1.1	8,425	△ 3.8	23,128	—
平成31.1	56	7.7	26,728	4.6	17,858	2.0	8,436	0.8	21,047	—
2	40	△ 25.9	23,442	5.8	17,414	3.3	8,411	△ 0.7	18,738	—
3	47	2.2	30,699	4.4	20,254	△ 0.9	9,841	△ 2.0	25,245	—
4	51	△ 28.2	26,487	2.8	18,656	3.9	9,366	△ 1.1	21,794	—
令和1.5	60	△ 3.2	27,951	1.0	19,000	4.2	9,924	△ 1.3	22,632	—
6	57	7.5	24,662	2.4	17,123	6.6	9,501	△ 2.6	20,083	—
7	64	146.2	26,294	0.5	18,357	7.3	9,422	△ 1.5	21,589	—
8	49	6.5	36,863	0.4	22,870	0.4	9,253	△ 8.7	29,454	—
9	—	—	27,864	1.9	18,823	2.0	8,673	△ 4.6	22,699	—
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社							

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本自動車検査登録事務所管内)				有効求人倍率		
	新車		中古車		長野県	飯田管内	
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数
	台	%	台	%	倍	倍	倍
平成25年	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—	—
30	27,525	0.6	7,352	1.1	1.69	—	—
平成30.7	2,230	2.3	617	△ 2.1	1.70	1.68	1.78
8	2,110	23.5	642	14.6	1.71	1.70	1.76
9	2,623	△ 0.6	589	△ 3.1	1.70	1.70	1.78
10	2,211	14.0	623	4.9	1.68	1.58	1.66
11	2,293	10.1	572	8.5	1.68	1.54	1.68
12	1,961	△ 1.9	584	△ 1.5	1.69	1.65	1.65
平成31.1	1,888	△ 0.8	457	8.3	1.65	1.53	1.65
2	2,370	0.6	553	4.3	1.64	1.38	1.46
3	3,669	△ 4.8	892	10.0	1.64	1.31	1.41
4	2,291	20.7	881	40.3	1.68	1.29	1.41
令和1.5	2,236	17.9	697	16.8	1.69	1.31	1.48
6	2,643	20.7	769	4.3	1.65	1.40	1.49
7	2,733	22.6	800	29.7	1.60	1.48	1.54
8	2,234	5.9	622	△ 3.1	1.57	1.47	1.49
9	3,342	27.4	804	36.5	—	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田		

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成25年	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
30	40,929	54,405,406	93	20	1,815	△ 5.2
平成30.7	3,864	4,533,688	10	1	145	△ 2.0
8	3,455	4,778,765	6	1	147	△ 12.0
9	2,790	4,207,557	8	2	148	△ 17.3
10	3,846	4,311,935	11	6	134	△ 5.6
11	3,163	3,725,724	9	3	138	△ 2.8
12	3,004	4,409,032	3	0	150	△ 19.4
平成31.1	3,690	5,445,545	11	1	126	△ 6.0
2	3,040	4,177,126	4	0	150	△ 5.7
3	2,710	5,116,670	8	0	174	△ 15.9
4	3,027	3,785,301	7	1	129	6.6
令和1.5	3,616	5,248,472	4	0	144	△ 21.3
6	2,580	4,130,285	3	1	132	△ 11.4
7	3,633	4,789,801	5	0	163	12.4
8	2,600	3,662,131	6	0	145	△ 1.4
9	3,281	4,833,989	—	—	178	20.3
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成25年	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1
平成30.7	232,347	△ 2.8	159,791	△ 0.8	34,045	20.9	89,874	3.4
8	260,148	1.1	173,114	△ 0.5	42,127	4.6	112,753	△ 1.5
9	230,249	△ 0.8	160,382	△ 2.1	27,490	△ 8.5	84,642	△ 4.2
10	249,194	4.6	174,737	3.2	45,930	57.5	96,696	8.2
11	245,989	0.5	184,362	0.4	38,239	13.8	95,649	0.1
12	226,974	△ 0.1	152,750	△ 1.8	25,255	2.9	73,465	△ 3.5
平成31.1	209,607	1.4	133,259	△ 1.1	25,060	△ 5.6	66,977	△ 0.3
2	196,648	0.9	125,140	△ 2.5	24,144	△ 6.4	63,059	△ 0.5
3	236,623	0.7	149,803	△ 1.6	26,981	△ 5.1	77,548	△ 2.3
4	226,394	0.6	146,763	0.7	45,245	△ 21.4	89,223	△ 2.9
令和1.5	236,073	△ 0.2	154,855	0.3	52,623	32.0	93,755	7.2
6	215,770	△ 2.9	146,768	△ 2.6	29,408	△ 9.7	73,196	△ 2.7
7	233,275	0.4	154,940	△ 3.0	26,090	△ 23.4	80,857	△ 10.0
8	258,453	△ 0.7	170,028	△ 1.8	40,786	△ 3.2	109,486	△ 2.9
9	235,384	2.2	163,738	2.1	31,818	15.7	89,027	5.2
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							